

関西医科大学総合医療センター 精神科専門医研修プログラム

本専門研修プログラムは、日本精神神経学会による一次審査を通過したものであり、今後日本専門医機構による二次審査を踏まえて修正・変更があることを予めご承知おきください。

★ 特徴

1. 大阪の中心近くに位置する地域急性期・大学病院として実学的な研究・医療
2. 専門外来から精神リハビリテーションへと全人的な治療を目指す外来診療
3. 診断目的、身体合併症、特殊治療といった難治症例へ対応している入院体制
4. 総合病院としての精神科救急、緩和・リエゾン医療への関わり
5. 数多くの連携施設と、専門医・指導医・認定医の存在
6. 国内外、分野をまたがってトランスレーショナルに行われている活発な研究活動
7. 研修の中心となる関西医大2病院はどちらも新しく、心地よい環境と最新の設備

関西医科大学精神神経科は1932年に設立以降90年間、大阪の中核病院として精神医療に重要な役割を果たしている。

基幹病院となる関西医科大学総合医療センターの精神科は大阪市と隣接する全国でも有数の人口密集地に位置している。外来診療では、大規模デイケアと作業療法を中心としたリハビリテーション部門や、「うつ病外来」「もの忘れ外来」といった専門外来など、柔軟で幅広い医療を行い、精神科救急では、身体合併症に関して医療圏の中心的役割を担い、精神保健指定医を救命科に複数名派遣する体制で身体科連携し、積極的な救急医療を展開している。

入院治療としては、難治症例に対して、修正型電気けいれん療法、クロザピン治療、先端知

識・技術による精査・診断、リエゾンチームや緩和ケアチームなど、幅広い領域に精神科医が積極的に関わる総合病院として機能している。精神保健に関しては、企業におけるメンタルヘルス・産業医活動、保健所、地域における勉強会を通しての知識の普及活動が行われている。基幹病院において専攻医はこのような精神科医療全般にわたる医療活動に従事しながら様々な症例を指導医と共に診療するため、精神科専門医として十分な経験を得ることができる。連携施設としては大学本院にあたる関西医科大学附属病院や、大阪を中心とした総合病院精神科、診療所、大阪精神医療センターまた、大規模精神科単科病院を中心に様々な医療機関と連携を行っており、児童思春期、老年期、依存症治療、地域医療といった専門医療を研修することが可能である。

また、脳科学から、医療倫理も含む社会学の最新知識に基づく試みも行われており、オーダーメイド治療を目指した遺伝薬理、精神分析研究と最新の脳科学を融合したニューロイメージジ、インダストリー分野と提携して研究を進めているニューロモデュレーションといった分野のトランスレーショナルに研究を進めている。また、一方では、緩和医療、自殺、社会復帰といった心理、地域、社会的な分野と密接に関わる研究も行われており、専攻医は、日常臨床と並行して幅広い分野における最先端の研究に触れることが可能である。研究活動への関わりにより、医師に必要不可欠な情報の収集と適切な評価と応用、医療倫理の獲得でき、高い資質を備えた専門医が育まれることが期待できる。

このような専攻医の育成に使命を感じる指導医を豊富に有していることが、本プログラムの特色である。

★ 精神科専門医研修プログラムについて

関西医大総合医療センター精神科専門医研修プログラムの3年間の研修で

以下の領域が習得できる

1. 患者及び家族との面接
 2. 疾患概念の病態の理解
 3. 診断と治療計画
 4. 補助検査法
 5. 薬物・身体療法
 6. 精神療法
 7. 心理社会的療法など
 8. 精神科救急
 9. リエゾン・コンサルテーション精神医学
 10. 法と精神医学
 11. 災害精神医学
 12. 医の倫理
 13. 安全管理
- 上記の習得で、専攻医は精神科領域の専門的診療能力が身につく
 - 精神科領域全般からサブスペシャリティ領域（児童精神、老年精神、臨床精神薬理、リエゾン）の専門研修をおこない、それぞれの領域の専門医習得と連動する
 - この期間に精神保健指定医の資格取得も同時にサポート

★ 年次毎の到達目標

1 年目：

基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に患者を受け持つことで面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本に加え、リエゾン・コンサルテーション精神医学や時間外対応などの精神科救急医療を習得する。面接によって情報を抽出し診断に結び付け、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。支持的精神療法、認知行動療法、力動的精神療法についての基礎知識を学ぶ。

2 年目：

基幹病院または希望する連携病院で、指導を受けつつも自立し、面接技法、診断と治療計画の能力をさらに高め、薬物療法の技法も向上させる。また、精神療法としては、認知行動療法、力動的精神療法についての技法を学ぶ。神経症性障害、摂食障害、種々のパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。興味に基づき、個々の疾患の専門性を深める経験をする。経験した症例を地方会などで発表する。

3 年目：

指導医から自立して診療できるようになる。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の意向を考慮して選択する。引き続き、認知行動療法、力動的精神療法についての技法を学び、そのエッセンスを実践する。精神科デイケア・精神科作業療法を通して精神科リハビリテーションを学び、地域精神医療についても理解する。経験した症例を地方会などで発表する。

★ 研修プログラム施設群

関西医大総合医療センター、関西医科大学附属病院を含む、大阪を中心とした

17病院で施設群を構成



関西医大総合医療センター



関西医科大学附属病院

大阪 長尾会 ねや川サナトリウム、 清心会 八尾こころのホスピタル

爽神堂 七山病院、以和貴会 金岡中央病院、桐葉会 木島病院

白水会 紀泉病院、好寿会 美原病院、正正会 分野病院

大阪府立病院機構 大阪精神医療センター

市立豊中病院

滋賀県 青祥会 セフィロト病院、 瀬田川病院、 青樹会 滋賀八幡病院

その他 仁康会 小泉病院（広島県）、おくら会 芸西病院（高知県）

光風会 三光病院（香川県）

★ 指導医と症例数/年

- 本専門研修施設群では54名の専門研修指導医が専攻医を指導します
- 全施設での1年間の診療実績の概算は
 - 統合失調症 5300例
 - 気分障害 4000例
 - 器質性精神病 5100例
 - 児童思春期 1800例
 - 精神科救急 900例
 - 合併症 1700例
 - m-ECT 110例
 - MRI 500例
 - 脳波検査 730例
 - 心理・神経心理検査 1800例

★ 専攻医の募集人数とローテーションモデル

専攻医の募集人数は10名とします。

ローテーションモデル

典型的には1年目に基幹病院をローテートして精神科医としての基本的な知識を身につける。2~3年目のうち1年間は単科精神科病院をローテートし、難治症例、慢性期症例、認知症症例などを幅広く経験し、地域精神医療についても理解する。また、単科精神科病院ローテート中に措置入院症例を経験する

ローテーションモデル

入局後教育プログラムスケジュール (年次ごと)

※大学病院は基幹病院を示し、精神科病院は連携施設病院を示します

以下の連携施設より選択

	医師3年目 (精神科1年目)	医師4年目 (精神科2年目)	医師5年目 (精神科3年目)	医師6年目 (精神科4年目)	医師7年目 (精神科5年目)
臨床重視バランスコース	大学病院	精神科病院	大学病院	精神科病院	大学病院
救急救命コース	大学病院	精神科病院	大学病院 救急救命	救急救命センター	
国内留学コース	大学病院	精神科病院	大学病院	国内留学	
身体合併症重視コース 緩和ケアコース	大学病院	精神科病院	大学病院	リエゾン・緩和ケアチーム	
研究・大学院コース①	大学病院	精神科病院勤務	大学病院 大学院	大学院	
研究・大学院コース②	大学病院	精神科病院 大学院	大学病院 大学院	大学院	
研究・大学院コース③	大学病院	精神科病院	大学院	大学院	
精神科病院コース	大学病院	精神科病院	精神科病院	精神科病院	

・関西医科大学附属病院
 ・医療法人長尾会 ねや川サトリウム
 ・医療法人清心会 八尾こころのホスピタル
 ・社会福祉法人青祥会 セフィロト病院
 ・医療法人爽陣神堂 七山病院
 ・医療法人以和貴会 金岡中央病院
 ・医療法人仁康会 小泉病院
 ・医療法人桐葉会 木島病院
 ・医療法人白水会 紀泉病院
 ・医療法人おくら会 芸西病院
 ・医療法人社団 瀬田川病院
 ・公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
 ・医療法人好寿会 美原病院
 ・医療法人正正会 分野病院
 ・地独)大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター
 ・医療法人社団光風会 三光病院
 ・市立豊中病院

8年目以降、海外留学・海外赴任も含め、様々な機関で幅広くキャリアを積めます。

上記のスケジュールはあくまで一例です。これら以外にも希望に応じ、柔軟な対応を行っております。

★ 専攻医の応募手続き採用方法

■ 応募方法：

関西医科大学総合医療センター精神科専門研修プログラム管理委員会は、毎年 6 月から説明会等を行い、精神科専攻医を募集します。

本プログラムへの研修希望者は、日本精神神経学会の web (<https://www.jspn.or.jp/>) にアクセスし ID とパスワードを獲得し、本プログラムに登録してください。

登録は 10 月 1 日（日）より開始し、11 月 18 日（土）の締め切りを予定します。

従来通りの申請書を web

(<http://www.kmu.ac.jp/residency/recruit/2671t80000000fu4-att/2671t800000013sx.pdf>)よりダウンロードし、e-mail (sotugori@hirakata.kmu.ac.jp) もしくは FAX FAX ; 06-6995-2669 で送信いただければ、必要な手続きをご案内いたします。この場合は 10 月 31 日（火）が締め切りです。

■ 採用方法：

プログラム管理委員が履歴書記載内容を審査したのち面接試験をおこないます。

面接試験の連絡が来ましたら、日程調整のうえ、面接試験を受けてください。

※ なお、医師（専攻医）は当専門研修プログラムへの採用後、研修施設群のいずれかの施設と雇用契約を結ぶこととなります。

■ URL

- 関西医大総合医療センターホームページ <http://www.kmu.ac.jp/takii/>
- 関西医科大学卒後臨床研修センター <http://www.kmu.ac.jp/residency/index.html>
- 関西医科大学精神神経科 <http://www3.kmu.ac.jp/psy/index.html>